

## 第4回熊本市景観審議会景観計画改定専門部会（要旨）

日時 令和5（2023）年7月21日（金）13：30から16：00

場所 熊本市役所議会棟2階 総務委員会室

### 出席者

（委員）星野部会長、田中委員、原田委員、小島委員、岩橋委員、吉村委員、森岡委員  
（事務局）都市デザイン課 粟田課長、松永課長補佐、高城主幹、黒木技術参事、村上主任技師

### 【議題】

#### [審議事項]

改定熊本市景観計画について

前回会議（第3回景観計画改定専門部会）以降の検討経緯・・・【資料1】

改定熊本市景観計画 素案（序章～第9章）たたき・・・【資料2】

改定熊本市景観計画 概要版 たたき・・・【資料3】

### 【概要】

#### [審議事項]

改定熊本市景観計画について

事務局から、上記資料の説明後、審議を行った。

■景観計画改定専門部会での意見のまとめは以下のとおり。

本編について

- ・序章～3章については、視点場の保全・向上の考え方が機能するように景観形成基準の記載を工夫してほしい。
- ・「計画の構成図」は、事業者を確認してもらいたい項目に掲載ページを載せるなど、より使い易くしてほしい。
- ・5章に屋外広告物の規制図を追加で記載し、わかりやすくしてほしい。
- ・6章は公共施設の整備事例の写真に、どのような景観配慮がなされた事例か、わかりやすいようにキャプションを付けてほしい。

概要版について

- ・全体的に見易く、使い易くしてほしい。
- ・公共施設整備の記載ボリュームを減らして、市民協働の内容を増やしてほしい。
- ・関連するガイドラインや届出様式が掲載されているホームページに飛べる二次元コードを付けてほしい。

■主な質疑応答については、次のとおり。

<本編について>

○序章～3章の視点場と基準について

(委員)：3章の「景観形成基準」という具体的な箇所に視点場の話しが一切ない。実際、景観調整会議等では、視点場に基づいたフォトモンタージュが出てきていると思うが、そういったことは書けないのか？

(委員)：高さの特例承認の際は、視点場からのフォトモンタージュを作ってシミュレーションしている。実際、手続きとしてお願いしていることは書くべきではないか？

(委員)：景観形成基準の表の上でよいので視点場について書く。そうしないと2章がただの理念になってしまう。

(委員)：高さの特例承認の際にフォトモンタージュの提出を課しているのであれば、「そういう手続きをお願いしています」のように事実を書けば良いのではないか。

(部会長)：視点場をより積極的に使えるような記述を入れる事を工夫してほしい。

○構成図について、より使い易くする

(委員)：「事業者がどこを見て何をすれば良いかが分かりにくい」という意見が出たので、パッと見て分かるフロー図のようにしてほしい。目次の最後に「景観計画の構成」が加わったが、事業者にとってはまだ難しい。視点場が何に影響するか、どういう制約に繋がるか、どこまでが努力義務か、というような事を知りたい。

(委員)：事業の発想段階から景観計画の内容を分かっているように、計画の構成の表に入れてほしい。その上で、「審査基準」であるチェックシートがHPに掲載されていれば尚良い。

(委員)：大規模行為をしようとする人に見てほしい箇所が分かりやすいよう、手引きとして目次の後にフロー図を入れてほしい。

(委員)：構成表に、大規模行為、特定施設届出地区、熊本空港周辺景観形成地区に関してそれぞれ確認してほしい部分を参照できるような情報を入れてほしい。また、「大規模行為」などの文言が最初に出てくる箇所なので、詳細説明があるページを示すなどインデックスがあると良い。

○第4章以降、キャプションや地図の追加

(委員)：P.137 公共施設の景観整備、各種写真について、それぞれの場所でその写真が使われている事に納得できる理由が必要。

(部会長)：道路の写真については、道路内からのアングルにすればよりダイレクトに伝わるのではないかと。写真にもう少しキャプションで補足してほしい。今後、高架橋等の大きな道路が出来る可能性があるが、道路構造に関する記載が一切ないので触れてほしい。

(委員)：P.130 屋外広告物の制限について様々な許可・禁止地域があるので、屋外広告物の規制図（分布図）がほしい。その上に重点地域を重ねるとよい。

<概要版について>

○構成図やゾーン図、方針の見せ方

(部会長)：本編で議論になった視点場の使い方について、重点地域の景観形成基準の前段に載せてほしい。

(委員)：序章前の景観計画の構成も上手く載せたい。景観特性も要約版でいいので、最初の方に入れてほしい。

(委員)：熊本の景観について現状の良いところをどう捉えて計画を策定しているか伝わるよう、景観特性について説明はあった方がよい。

(委員)：P.3 ゾーン・軸・地域拠点位置図と P.4 ゾーンの形成方針は並べて見たい。見開きのようになっているとよい。

○P.26 公共施設の記載量減と協働の充実化

(事務局)：P.26 公共施設等の整備については、それほどスペースは必要ない。P.27 の「11 市民・事業者・行政の役割」の部分を充実させたい。

(部会長)：市民協働のことをしっかり書く方が大事だろう。

○関連するガイドラインや手続きなど二次元コードの表示

(委員)：概要版しか見ない人は、本編や関連するガイドラインやマスタープランの参照先が分からない。概要版にも本編 P.151 の二次元コードのようなページが必要である。

(事務局)：事業者が使用するため、届出書やチェックシートへ飛べると便利である。

○全体的に見易く、使い易く

(部会長)：全体の印象としては、ページ数が増えたとしてももう少し読み易くしてほしい。

(委員)：1 ページにぎっしり文字が入っていて読みにくい。

(委員)：デザインアップはこれからという事だったので読み易くはしていただけるはず。ただ、写真やフロー図を見やすくするのは基本であると思う。

以上